

【今月の目次】

1. 山梨大学との連携教育研究会について
2. ICT 活用ワンポイント講座「ドキュメント」がクラウドに？～ファイルの保存先を理解する～
3. コラム「IoT 機器（「Internet of Things」）の設定大丈夫ですか？」



1. 山梨大学との連携教育研究会について

11月17日（月）に山梨大学教育学部附属教育実践総合センターとの第3回連携・教育研究会が行われ、山梨大学から16名、総合教育センターから36名が参加しました。全体会では「学習者主体の学びとデジタル学習基盤」と題して、三井一希准教授による講演がありました。講義では、時折3~4人のグループワークを交えながら、デジタル学習基盤を生かした学び、校務DXと生成AI、学習者主体の学びをデザインする、といったお話を聞きました。1人1台端末が導入された現在の学校においては、これまで学校で行われていた授業や公務について見直しを行い、ICTを活用することで、児童生徒が学びやすい学習環境をつくっていくことが重要であるとのことでした。

講演会後に行われた各研究チームごとの分科会においては、本年度の情報教育チームの研究「『校務DX』の現状分析と支援」の中間報告を行い、生成AIの所内研修会、学校訪問による研修会を実施したことなどを報告しました。山梨大学のアドバイザーの先生方から「指導主事が学ぶことが学校訪問での活用につながる」、「校務での活用が授業での活用につながる」といった助言をいただきました。なお、センター研究については、研究のまとめを行い、2月19日（木）のセンター研究大会において本年度の研究の成果と課題を発表しますので、是非、ご参加ください。



2. ICT 活用ワンポイント講座「ドキュメント」がクラウドに？～ファイルの保存先を理解する～

最近、作成した文書やダウンロードしたファイルを探すのに手間取った経験はありませんか？これまで、文書などのデータはPC内の「ドキュメント」フォルダに保存されていました。しかし、Windows 11ではこの仕組みが変わっています。

Windows 11の「ドキュメント」は、PCクラウドサービスである「OneDrive」上にあると表示されます。クラウドサービスの普及に伴い、現在のマイクロソフトはユーザーデータをOneDrive上に保存することを推奨しています。今後はOffice文書の保存先がOneDriveとなり、自動保存オプションを有効にすることが標準的な使い方になります。以前はPC内の「ドキュメント」を探せばよかったのですが、現在は保存先のデフォルトがOneDriveと同期した「ドキュメント」フォルダになっているため、注意が必要です。

また、「ダウンロードしたはずのファイルがダウンロードフォルダにない」という経験はありま

せんか？ブラウザやメール、Teamsなどのグループアプリケーションでは、ダウンロードボタンをクリックした後の挙動が異なります。クリック後、そのままダウンロードフォルダに保存される場合もありますが、ブラウザの設定によっては、右上の画面で「保存」をクリックしないとダウンロードフォルダに保存されないこともあります。

Windows 11 になってから、少しづつ PC に慣れていく一方で、クラウドの仕組みに慣れないまま、PC 内が整理されていないという方もいるのではないかでしょうか。少しづつ Windows 11 の挙動に慣れていきましょう。



3.コラム 「IoT 機器（「Internet of Things」）の設定大丈夫ですか？」

最近では、テレビや冷蔵庫などの家電がインターネットに接続することで、自宅外から家の様子を確認することや、機器を遠隔操作が可能な「スマート家電」が一般的になってきました。

これらの機器もコンピュータと同様に、外部からのアクセスによるハッキングの対象となります。攻撃者は、公開されている初期設定情報やセキュリティの弱点（脆弱性）を悪用して侵入を試みます。

また、機器のソフトウェアのアップデートについても注意が必要です。アップデートが止まると、既知の脆弱性が修正されず、攻撃者にとっては“開いた扉”的な状態となります。特に、メーカーのサポートが終了した機器や、自動更新がオフになっている機器は要注意です。定期的にアップデートの有無を確認し、サポート期限が切れた機器はネットワークから切り離し買い替えを検討しましょう。

ホームカメラなどの IoT 機器では、初期設定のパスワードがメーカー公開情報としてインターネット上で簡単に調べることが可能ですが、初期設定のパスワードをそのまま使うと、映像の流出、プライバシー侵害およびカメラの遠隔操作などの被害に遭遇する危険があります（実際に公開されてしまっているものもあります）。購入後はすぐにパスワードを変更し、複雑な文字列に設定してください。

IoT 機器を購入するときには、価格だけでなく信頼性が高く、かつサポート体制が整っているメーカー・サービス提供業者を選ぶことが重要です。過去に発売された機器のサポート状況なども参考になるでしょう。

便利な IoT 機器を安全に使うために、基本的なセキュリティ対策を怠らないことが重要です。また、廃棄についても個人情報の消去や再利用されないための対策など最後まで注意を払っておきたいところです。

（参考：電子情報技術産業協会（JEITA）「ガイドライン パンフレット」より）



おまけ　いまさら聞けない用語解説

今月の用語「Cookie（クッキー）」

Web サイトがブラウザに保存する「小さなデータファイル」のこと。ユーザーの操作履歴や状態を記録する（受け入れる）ことで、再ログインの手間が省ける、個人の関心に合った広告やコ

ンテンツが表示されるなど利便性が高まります。一方デメリットとして閲覧履歴や行動データが広告や分析に利用されることがあげられます。Cookie を削除するにはブラウザの設定から簡単でできますが、ログイン状態やサイト設定がリセットされるので、その点には注意が必要です。

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508（直） /FAX:055-262-5572

お問い合わせはこちらへ <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーはこちら https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492